

冬の特大号！！

～今月の名言～

死と生とは同じひとつのもの。

手の両面、手のひらと手の甲みたいなものなんだ。

アーシュラ・K. ル＝グウィン 『ゲド戦記 ーさいはての島へー』 P. 126

☆突撃インタビュー☆Part. 2

前回に引き続き、加藤先生にご協力していただきました！

——手塚治虫はよく、その年代で人気だった作家のインスパイアをしていたって聞いたんですけど、今だったらどんな作家のインスパイアをしますか。

㊦何でもやると思うけど、ワンピースは必ず対抗馬を出してくると思います。

——ワンピースみたいな作品はあったんですか？

㊦『宝島』っていう有名な小説を彼なりの世界観で作ったのが、最初に人気になった『新宝島』で、強いて言うならそれがワンピースだと思います。

——手塚作品の初心者が読み始めるとすれば、何がいいですか？

㊦難しいけど、とりあえず一冊読んでみてっていう気持ちですね。『ブラック・ジャック』は一話完結だから読みやすいと思うし、夢が溢れる感じが好きなら初期の頃の作品を読めばいい。後期になると、自分の親とか歴史を踏まえたシリアスな作品が増えてきます。それを参考に探してみるといいと思います。

——高校生だからこそ読んでほしい作品はありますか？

㊦まとまった時間があると思うので、『火の鳥』などの大作に挑戦してほしいです。気軽に読みたければ『リボンの騎士』とか。彼の原点がわかるので、一度は読んでほしいです。アニメで有名になった『鉄腕アトム』もいいですね。科学が進歩した今だと少し遅れているように感じますが、ネオ・レトロみたいな感じで面白いですね。

——最近アニメで『ヤングブラック・ジャック』をやっていますが、そういうものはいかがですか？

㊦手塚本人が古典をもとにすばらしい作品を作っているのだから、いいと思います。僕も自分が知っているものごとれを感じそうでビビってるところがあるけど、まったく新しい発想で書いた新しい作品として付き合っていけばいい。ちょっと違うかなって感じるかもしれないけど、それは読む方も書く方も自由に扱っていいと思いますね。

——手塚以外に先生が読んでいた本は何かありますか？

㊦手塚治虫とちょうど対極で、あまり難しい方にはいかずにエンターテインメントの面白さを追求していたのが、横山光輝。みんな知らないだろうけど、『鉄人 28号』や『バビル2世』なんかを描いていた人です。僕は忍者漫画の『伊賀の影丸』が好きでした。

ギャグ漫画だったら赤塚不二夫ですね。『おそ松くん』は31巻あったんですけど、全巻読みました。今のギャグからすると、なんというかほのぼのしていて、笑わせようっていうより、クスッとさせるような感じですね。昭和三〇年代くらいの、まだ子どもたちが土管が転がってるような原っぱで遊んだり、いたずらも街でやって、とか…まだ子供たちが外でエンジョイしてた時代ですね。そういう時代の漫画なのでちょっとみんなには違和感あるかもしれないけど、今とは違うのびやかさが感じられて、それはそれで大好きです。

ストーリーものだと、劇画調なのはあまり好きじゃないんですけど、強いて言えば『ゴルゴ 13』。これなんかは時事的なものがよく調べてあってすごいなって思う。

SF的なもの描いてた、手塚チルドレンって言われるような人だと、石ノ森章太郎。『サイボーグ009』、『リュウの道』、もっと後期だと『仮面ライダー』なんか好きでしたね。

——手塚治虫の影響を強く受けた作家は誰ですか？

㊦一番強く受けているのが石ノ森章太郎ですね。絵柄がよく似てるのは石坂啓。女性の漫画家なんですけど、タッチなんかは手塚とそっくりです。案外世界観も似てるかも知れないけど。

——手塚作品が先生に与えた影響はありますか？また、先生にとっての手塚治虫とは。

㊦正義を愛し悪を憎むというか、愛すべきものを大切に誤ったものを正すっていう信念の原点。単純に正義とか悪とか言いきれないかもしれないけど、そういうものを大切にしたいと思うきっかけになりましたね。

——最後に、今の高校生に向けて一言お願いします。

㊦信念と同じだけど、愛すべきものは愛すっていうことじゃないですか。友達でもなんでもいいけど、そういったものをより大事にしてください。そういったものの良さをより汲み取ろうとしないで、そういう気持ちを持つことはやっぱり大切なんじゃないかと思います。

Merry Christmas!!

冬のこの時期にお勧めの本を図書委員が紹介します!(・ω・)/シ

『グラスホッパー』
伊坂幸太郎

生々しくも爽快感溢れる、殺し屋たちの物語。最後の最後までオチが見えません!

『太陽の塔』
森見登美彦

モテないストーリー。まがいの主人公。リア充どもに目にも見せるため四条河原で大暴れ!

『走れメロス』
太宰治

暴虐の王に真実を見せつけるため、友の信頼に応えるため、メロスよ、走れ!

『クリスマス・キャロル』
ディケンズ

ケチな商人スクルージが過去・現在・未来の自分の姿を見て心が変わっていく心温まるお話です。

『冷たい校舎の時は止まる』
辻村深月

雪降るある日、校舎に閉じ込められてしまった8人の高校生。この中の誰かが死んでいる…。

『Nのために』
湊かなえ

冬のある夜に殺された裕福な夫妻と、そこに居合わせた4人の若者たち。それぞれにとっての“N”とは一体—!?

『マリアビートル』
伊坂幸太郎

偶然か必然か、同じ新幹線に乗り合わせた殺し屋たち。それぞれの思惑が交錯し、やがて全てが一つになる—。

『凍りのくじら』
辻村深月

高校生理帆子の前に現れた不思議な先輩。先輩の正体を知った時、きっともう一度読み返したくなります!!

『悪の教典』
貴志祐介

一大好きな私達の担任の正体は恐ろしい殺人鬼でした。—
怖いけれどやめられない、狂気の殺戮の夜をあなたは乗り越えられますか?

編集後記

朝なかなかコタツから出られない今日この頃、今までパソコンの文字打ちをほとんどやったことがなかった私が、今回ほんの少しだけやらしてもらったら指がめっちゃくちゃついです。(1B 石井)

本を読んで思ったことを文章にするというだけのことが大変でした。(1B 桐山)

今回は冬の記事をたくさん書いたので、楽しんで読んでもらえたら嬉しいです。これから冬休みなので、図書委員お勧めの本をぜひ読んでください。(1D 飯塚)

☆加藤先生、たくさんお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました!!